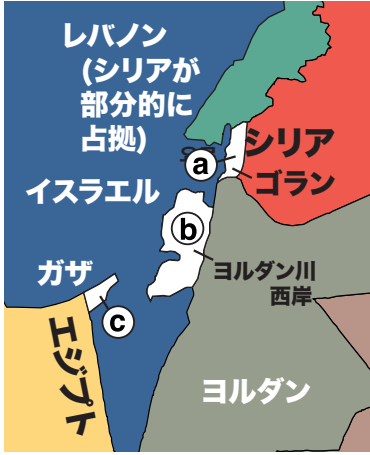


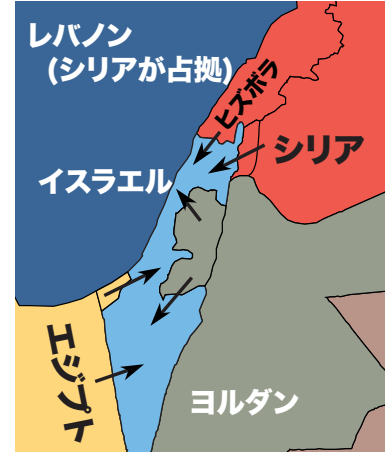
イスラエルの戦略的価値

9・11事件後のテロ戦争のシナリオ



1 事件前

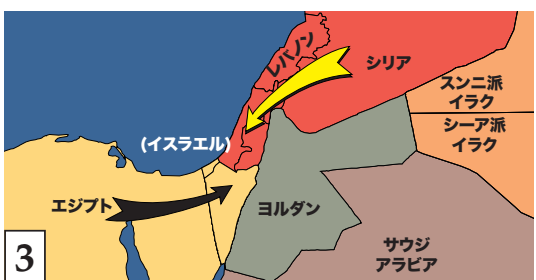
ヨルダン川西岸やガザ州が非武装化されると、米国の戦略的資産と中東テロに対する防壁となっている自衛可能なイスラエルを、自衛どころか米国の武力を見込むことすらできない無防備な、米国にとって不利益な国に化し、攻撃を招くことになる。



2 事件後

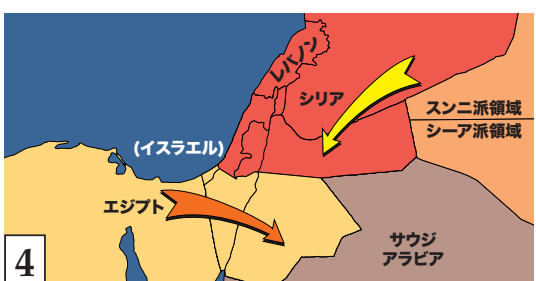
1. 米国にとって戦略的な自衛可能な資産としてのイスラエル：イスラエル軍支配下にあるゴラン高原 (a)、ヨルダン川西岸の山岳地域 (b)、ガザ地区 (c) によって、イスラエルは短期から中期において実存する脅威の心配がない。

2. 攻撃を招くことになる無防備な、米国にとって不利益な国としてのイスラエル：イスラエルがゴラン高原、ヨルダン川西岸の山岳地帯、ガザ地区がイスラエルの支配下ではなく、アラブの敵国の支配下にあった場合、イスラエルは戦略的に脆弱であり、短期的な実存する脅威にさらされる。そのような紛争はイスラエルに対するアラブによる継続的なテロによって煽られる。



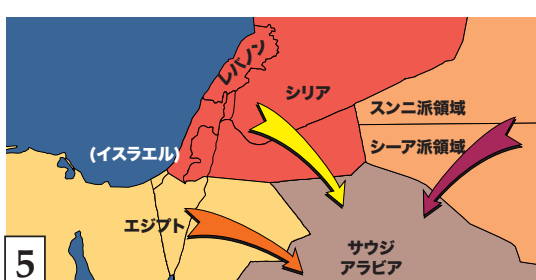
3

3. イスラエル：一次連鎖
ゴラン高原やヨルダン川西岸の山岳地帯による自然の防壁を失い、イスラエルの軍隊動員能力が弱体化した状態になった場合、イスラエルは簡単にシリアとエジプトに破壊され占拠されるであろう。高度に軍国化されたパレスチナ国家でさえも、シリアかエジプトのいずれか一方を軍事的に封じ込められない。ヒズボラ、シリア、エジプトはいずれも待望のエルサレム占拠のために競い合うことになる。



4

4. ヨルダン：二次連鎖
イスラエルが戦略的防衛国でなくなると、ヨルダンは強力な軍隊を有するヒズボラ、シリア、エジプト、イランシーア派勢力によって簡単に侵害されるであろう。シリアは現在ヨルダンにシリア南部と見なしており、「自明の運命」という自ら構想を実現する。



5

5. サウジアラビア：三次連鎖
強力な軍隊はあるが石油資源に乏しいエジプト、シリア、サウジアラビア北部国境のイランシーア派勢力に囲まれたサウジアラビアは、消滅することになるであろう。スエズ運河が味方国の占領管理下でない場合、西側主要諸国はサウジアラビアに武器を再補給したり守ることはできない。